

青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和4年度 第209号 4月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

令和4年度も新型コロナウイルスの感染を考慮して、コロナ禍でも頑張って続けていただいた保小中一貫教育の各委員会の活動の様子をお伝えします。



今年度の保小中一貫教育の取り組み

保小中一貫教育委員会事務局 島脇 謙（青木小学校教頭）

令和4年度も『村の子は村で育てる』という青木村の教育理念のもと、教育委員会を中心に保育園・小学校・中学校が連携し、保小中一貫教育を進めてまいりました。各委員会で感染予防を徹底し、特色ある活動をしてきました。各委員会の活動の様子を紹介します。

保小連携委員会

園児が小学1年生の活動を見学・交流することで小学校の様子がわかり、入学への期待を膨らませることができました。1年生も保育園児も笑顔笑顔！

今年度の見学・交流

- 6/16 1年生の音楽会練習を見学
- 10/26 ハロウィン練り歩き
- 1/31 小学校体験入学

※プール見学、運動会・児童会祭への参加は
コロナ禍のため中止となりました。



ハロウィン練り歩き



小学校体験入学（けん玉やコマで遊びました。）



特別支援教育委員会

保育園、小学校、中学校の職員で、子どもにとってどのような支援が良いのか情報交換をして、子どもたちの支援に活かすことができました。『村の子は村で育てる』という青木村の教育理念のもと、今後も保小間・小中間でのスムーズな移行ができるように、関係機関との情報交換や連携を図っていきます。



小中連携委員会

<令和4年度の活動>

※昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で行うことができなかった小中学生の交流と、職員による情報交換を行いました。

- 小中合同授業づくり研修
- 第1回小中連絡会の際の授業参観
- 小中合同地区子ども会
- 文化祭の見学（SDGs発表・意見文発表）
- 第2回小中連絡会（新入生の様子・特別支援学級・養護教諭）
- 中学生による学校説明会、中学校教師による体験授業
- 中学校長による、6年生への講話



<次年度に向けて>

今年度は中学教諭による小6英語授業など年度当初計画していなかった交流を数多く行うことができました。6年生が中学の授業や文化祭見学等を通して良い刺激を受けて、中学校進学への不安を軽減することができ、入学を楽しみにしてくれたらと思います。



中学校の教師による英語の授業



中学生・小学生合同授業（音楽）

フォーラム委員会

令和4年11月19日に行われた『信州教育の日 青木大会』で『学びの発表』のスライドを作成し、発表しました。『学びの発表①』では『青木村の教育～村の子どもは村で育てる～』、『学びの発表②』では『ふるさとの思いを受け継ぐ！！ 義民太鼓への取り組み』についてです。多くの方に視聴していただき、青木村の教育の特色を伝えることができました。

重点①保小中一貫教育



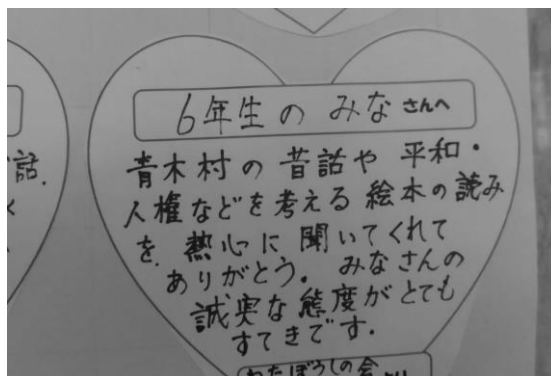
行事や交流を通して移行支援
子ども達が次への見通しがもてる活動



子育て委員会



地域とのつながりをテーマに、地域の方にご協力いただいた活動を取り上げ、地域の方々がどのような想いで関わってくださっているかメッセージをいただきました。子どもたちの想いも模造紙にまとめて掲示しました。様々な活動を通して、地域の方と子どもたちが、心のつながりを確認できたと思います。



【義民太鼓保存会の皆さんから4年生へ】

『4年生の太鼓に関わらせていただき、わからないことはちゃんと聞いて一生懸命に覚えようとする姿を見て、私自身“初心忘れるべからず”と改めて思いました。みんな楽しく太鼓を打つことができ良かったです。』



【4年生から義民太鼓の皆さんへ】

『熱心に教えていただきありがとうございます。最初は不安だったけど、運動会では上手にたたくことができました。最高の運動会になりました。』

【米作りを教えていただいた堀内さんから5年生へ】

『稲の学習、皆さんどうでしたか？ おもしろかった、あるいはもっと稲作のことを知りたくなりましたか？ 稲の成長は見ているととても面白いです。手をかければかけるほど応えてくれます。皆さんの作業を見ていて感心しました。とてもいねいに作業をしてくださいました。これからも稲のことに関心を持って下さい。』



【5年生から堀内さんへ】

『5月に田植えをして、9月に稲刈りをして、10月に脱穀をしました。僕はこの豊かな青木村で農家になりたいと思っているので、プライベートでもやってみたいと思います。』

【読み聞かせ『わたぼうしの会』の皆さんから1年2組の皆さんへ】

『“たべられた やまんば”のおはなし、耳をすまして、こぞうさんのきもちになって、きいてくれてありがとう。とてもうれしかったよ。』



【2年生から『わたぼうしの会』の皆さんへ】

『いつもやさしく本を読んでいただきありがとうございます。すごくうれしいです。気持ちが“ふわふわ”になります。』

保健教育委員会

県から小5と中2に行われた『食に関するアンケート』を、保育園は年長の保護者、小学校は4～6年、中学校は1・2年に実施しました。保小中の課題を出し、来年度『青木村 健康寿命延伸計画』の5年目ということで、子どもの健康について見直しに役立てていきたいです。

5か条委員会

今年度の活動テーマ

あおきっ子教育ポイント5か条

「第3条『時間の使い方』」はどうあったらよいか
～1人1台タブレット時代の到来に合わせて～



〈テーマ設定の理由〉

ここ数年、新型コロナ禍にともなって、子どものメディア利用について急速な変化がありました。そこで、保小中それぞれの世代におけるメディア利用実態を把握し、今後の家族関係のあり方や子どもへの指導のあり方について考え、今の時代に合ったあおきっ子教育ポイント5か条第3条の条文を新たに提案したいと考え、このテーマを設定しました。



〈活動内容〉

9月に、保育園の保護者、小学校4～6年生の児童と保護者、中学校1～3年生の生徒と保護者に、電子メディア利用に関するアンケートを実施しました。

10月には、委員会で結果を考察し、11月には、その考察から、今の時代に合った5か条の条文を考えました。

詳細については、また改めて報告させていただきます。アンケートにご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。



終わりに

保小中一貫教育の活動を通して、子どもを地域で育てることは、青木村の特色、そして財産だと感じました。令和4年度は、全県規模の『信州教育の日 青木大会』において青木村の教育を多くの方に発信し、信州教育に大きな影響を与えることができたと思っています。

来年度もこの大きな財産を磨き、さらに輝かせていきたいと思えます。

活動を支えていただいている地域の方々や保護者の皆さまに感謝申し上げ、活動を一区切りといたします。ありがとうございました。



編)集)後)記) 今年も新年度が始まり気持ちも新たにあおきっ子たちをみんなで見守り、保育園・小学校・中学校を応援していきましょう。

